

研究紹介

教育課程

生きる力を育むことを目指す

教育課程の編成と校長の役割

理科教育の充実を目指す教育課程の編成と校長の役割

校長の役割

岩国市立通津小学校長

長谷川 裕



一 はじめに

次代を担う科学技術人材の育成がますます重要な課題となる中、学習指導要領では理科教育の授業時数及び教育内容の充実が図られた。さらに、平成二十四年度には全国学力・学習状況調査に「理科」が追加実施され、学校では、その結果を基にした指導の改善と充実が求められている。一つの教科に焦点を当て、その取組状況を振り返る中で、すべての教科に共通する校長としての役割が見えてくるのではないかとこの思いから「理科教育の充実を目指す教育課程の編成と校長の役割」について研究を進めてきた。

二 研究の視点

(一) 実験観察の充実に向けた物的環境の整備

(二) 授業改善や教職員の指導力の向上

(三) 教育関係機関との連携

三 研究の実際

(一) 実験観察の充実に向けた物的環境

の整備

ア 理科教育備品等の整備

イ 理科室の利用状況

ウ 校地内の教育環境整備

エ 授業改善や教職員の指導力の向上

オ 校内研修の取組

カ 意図的に校内研修に「理科」を取り上げた事例

・ 初任者研修の一環とする。

・ 実験技能を高める研修を行う。

・ 校内研修を教育委員会と連携して他校に広める。

・ 理科専科教員や理科担当教員が推進役を務める。

・ 研究指定により全教職員で授業づくりを行う。

イ 岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会の取組

・ 夏季研修会 教育関係機関と連携した実技講習会

・ 授業研究会 山口大学教育学部との連携

ウ 地元企業の出前講座

・ 自由研究に向けた指導の充実

・ 地域の教育力を生かした取組

エ 中学校との授業交流

・ 岩国市科学センター

・ 科学教室

・ 科学クラブ

・ 科学作品展、科学発表会

・ 教育研修会

・ 岩国市立ミクロ生物館

・ 水中の微生物の観察

ウ 実験観察や自然体験、科学的な体験の充実を図る取組

・ 教育関係機関との連携



本物から学ぶ (ミニ博物館)

四 校長の役割

(一) 物的・人的環境の整備

学校の現状を正しく把握し、校長会などで情報交換しながら予算要望していく。また、人的環境の整備については、理科専科教員や理科担当教員の牽引力に期待する。

(二) 校内研修の活性化と人材育成

理科専科教員や理科担当教員に牽引力を発揮させるために、目標管理しながら活動を後押しする。

人材育成については、校内にとどまらず、全学的な視野に立って、教育委員会との連携や小教研などの活動を通して人の輪を広げる努力をする。

(三) 科学的な体験を豊かにする関係機関との連携のコーディネート

児童の科学的な体験を豊かにするために、関係機関と連携した授業づくりを行ってみようとすると教員の自発性を促す働きかけや支援を行う。学校にあるリソースを掘り起こし実感を持った学びとなるようマネジメントする。

五 おわりに

校長に、「自分の学校の子どもたちにこんな力をつけたい。」「このよう授業を受けさせたい。」という強い思いがあれば、その学校の授業は少しずつ変わっていくと考える。これからも授業改善を進めるための校長のリーダーシップを大切にしたい。